

米代川（秋田県鹿角市）における鉱山廃水の流出について
（第6報）（終報）

平成25年3月18日（月）18時15分、秋田県鹿角市内の鉱山関連施設から鉱山廃水が流出する事故が発生したとの連絡が、関東東北産業保安監督部より入ったことから、同日18時15分に能代河川国道事務所は「警戒体制」を設置し、現状の把握や関連機関への情報提供を行って参りました。

3月18日、発生箇所での破損した水路の応急復旧が完了し、河川への流出の恐れが無くなったこと、能代河川国道事務所及び秋田県の水質調査により米代川の安全性が確認されたことから、3月23日12時00分をもちまして、能代河川国道事務所の「警戒体制」を解除するものです。

1. 事故内容

- ・発生場所：秋田県鹿角市尾去沢字春木沢付近(米代川支川赤金川)
- ・流出物：鉱山廃水(銅・鉄・亜鉛などを含む)
- ・流出量：最大72立方メートル(推定)

2. 対応状況

①上水道用水の安全性の確保

- ・大館市水道では18日19時50分に、能代市水道では18日23時に取水を停止し、その後、各水道において安全性が確認されたとし、大館市水道では18日22時に、能代市水道では19日7時30分に取水を再開しています。

②破損した水路の応急復旧完了

- ・3月18日16時50分頃、事故施設の管理者により破損した水路の応急復旧が完了し、関東東北産業保安管理部東北支部により、水路の安全性が確認されています。

③水質の安全性の確認

- ・能代河川国道事務所では、米代川の5地点で、秋田県では米代川及び赤金川の11地点で水質調査を実施して参りましたが、今回の鉱山廃水流出事故による水質の異常は見られませんでした。

なお、秋田県は、赤金川においてPHが低く、亜鉛等が高い値を示したことについては、事故発生箇所の上流部でも同レベルで検出されることから、自然に由来するものと判断しています。

以上のことから、米代川の安全性が確認されたため、「警戒体制」を解除します。

お問い合わせ先

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会
国土交通省東北地方整備局 能代河川国道事務所
電話 0185-70-1001(代表)
副所長(技術) 栗田 信博(内線204)

河川管理課長 泉谷 敏広(内線331)